

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	給水装置データベース事業促進費		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成9年度		担当課室	水道課		水道課長 宇仁菅 伸介		
会計区分	一般会計		政策・施策名	Ⅱ-2-1 安全で質が高く災害に強い水道を確保すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	水道法第16条		関係する計画、通知等	「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令の一部を改正する省令及び給水装置の構造及び材質の基準に係る試験の一部改正について」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成8年の規制緩和により給水器具の型式承認制度を廃止した結果、国がすべての給水器具についての基準適合性の情報を集積・管理し、基準に適合している給水装置であるか否かの情報を的確・迅速に活用できるようにすることが必要となったため、給水器具の基準適合性に係る情報を電子情報として機能的に整理・記録する給水装置のデータベースの管理・運用を実施する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	給水装置データベースの改良、給水装置の情報入力、給水装置データベースの保守管理							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	8	8	8	10	10	
	執行額	8	8	7				
	執行率(%)	100%	100%	87.5%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	給水装置に求められる性能への適合について、利用者や工事施工者に容易に検索できる形でデータベース化することで、不適格品の使用を排し、安全な水道水の供給に寄与する。			—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	データベース更新等運用保守回数			回	40 (前年度程度)	29 (前年度程度)	31 (前年度程度)	— (前年度程度)
単位当たりコスト	227,288(円/回)		算出根拠	給水装置データベースシステム運用保守費/データベース更新等運用保守回数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	雑役務費	10	10					
	計	10	10					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	安全で質の高い水道を確保するため、基準に適合しているか否かの情報を的確・迅速に活用することは広く国民のニーズがあり、優先度が高い。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	基準適合の情報は全国一括して管理すべきであり、国が実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		-	給水装置データベースの改良、情報入力、保守管理を行うものであり、事業の性質から数値で定量的に成果目標を示すことができない。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	国庫債務負担行為だが、契約初年度において業務を実施するにあたり、一般競争入札を行い、競争性の確保を図っているため、支出先の選定も妥当である。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	本事業を実施することで安全で質の高い水道が受益者(国民)に提供されることから、負担関係は妥当である。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	適正な執行を行い、単位当たりコスト削減に今後も努めることとする。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	成果物の発注及び納品過程において費目・使途を十分に把握できており、事業目的に真に必要なものに限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	契約減に伴うものであり妥当。		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見込みに見合ったものである。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	給水データベースは給水器具の基準適合性に係る情報を迅速に提供するのに十分に活用されている。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	H24年度においては、支出先・使途については、成果物の発注及び納品過程において十分に把握できている。平成24年度の活動実績(データベース更新等運用保守回数)も当初の見込みどおりであり、給水装置制度の維持に向けて、水道事業者、給水装置工事事業者、水道利用者等に必要情報を迅速に提供するために事業を継続し、今後も適正かつ効率的な執行に努めることとする。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	給水装置(各家庭の給水管や蛇口、湯沸器その他の給水用具)が、水道法に基づく構造・材質基準に適合しているか否かを判断するための情報を電子データ化した「給水装置データベース」の運用・保守等に係る経費であるが、経費の必要性及び執行の観点からも妥当であり、引き続き効率的な執行となるよう努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	340	平成23年	308	平成24年	267

厚生労働省 7百万円

給水装置制度の維持
給水装置に関する消費者、給水装置工事事業者、水道事業者等への情報提供



【国庫債務負担】

A. IBJL東芝リース株式会社 4百万円
東芝ファイナンス株式会社 3百万円

給水装置データベースシステム賃貸借、運用、保守

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.IBJL東芝リース株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)
情報管理費	給水装置データベースシステム賃貸借、運用、保守	4
計		4

B.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

C.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

D.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

E.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

F.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

G.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

H.		
費目	使途	金額 (百万円)
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	IBJL東芝リース株式会社	給水装置データベースシステム賃貸借、運用、保守	4		
2	東芝ファイナンス株式会社	給水装置データベースシステム賃貸借、運用、保守	3		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					